

第10回 濃尾医療連携研究会意見交換会

医療関係者向

日時：10月9日(水) 20:00~21:30  
場所：松波総合病院 3階講堂

※本意見交換会は地域の開業医様と  
当院医師による会議です。

かかりつけ医院のご紹介

羽島市 福寿町の あさこうクリニック



耳鼻咽喉科 内科  
皮膚科

休診日 日曜日、祝日  
〒501-6255  
岐阜県羽島市福寿町  
3丁目33  
☎ 058-391-1133  
FAX 058-393-0707

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後3:30~ 6:30	○	○	○	—	○	—	—

—:休診

院長：浅野 幸一郎

耳鼻咽喉科専門医として小児からお年寄りまで幅広く専門性をいかした診療を行っております。内科では、耳鼻科と協力し消化器内視鏡専門医としてより苦痛の少ない経鼻胃カメラに力を入れております。また、糖尿病や高血圧など内科一般の診療を中心に女性医師ならではのきめ細やかな対応を心掛けております。

岐阜市 柳津町の 黒田内科クリニック



内科 消化器内科  
循環器内科 糖尿病内科  
小児科

休診日 木曜日、祝日  
〒501-6121  
岐阜県岐阜市柳津町  
上佐波西3丁目151番地  
☎ 058-270-0500  
FAX 058-270-0501

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	○
午後4:30~ 7:00	○	○	○	—	○	●	—

●は午後4:30~6:00 —:休診

院長：黒田 剛仁

常に患者様の側に立った医療を提供していけるよう、患者様の多様なニーズの変化に対応していけるように努力し続けていきたいと思っております。松波総合病院と今後も、より連携を密にして地域医療に貢献していく所存です。これからもよろしくお願いいたします。

患者さまと  
病院をつなぐ  
かけはし  
No.168  
MATSUMAMI

# まつなみ

2013  
10

発行 社会医療法人藤西厚生会 松波総合病院

先生からのおはなし  
CLINICAL TALK

## 透析治療を続けながら より良い社会生活が 送れるようチームで応援します。



透析患者さんにとって、週3回の透析は生命をつなぐ治療です。当センターでは、医師や看護師、臨床工学士、薬剤師、栄養士など多職種による「チーム」が協力しながら安全で質の高い透析医療を行い、患者さんが安心して日常生活を送れるよう努めています。さらに、ひとり暮らしや高齢の患者さんの場合はケースワーカーや介護スタッフもチームの一員。まさに地域ぐるみで透析患者さんをサポートしています。その中で、医師にはチームのリーダーとして、スタッフをとりまとめていく役割が課せられています。

### ■新館のオープンに伴い病床を60床に増床。 入院治療にも対応します。

私が透析治療に関わるようになって23年。その間、透析技術は大きく進化しました。なかでも透析の心臓部とも言うべきダイアライザー（透析器）の進化は目覚ましく、透析導入後の生命予後も大幅に改善されました。その一方で、患者さんの高齢化も年々進み、加齢や合併症で通院透析が困難、かつ介護も必要という患者さんも増加の一途をたどり、大きな課題となっています。こうした中、当センターでは新館のオープンに合わせて病床を現在の36床から60床に増床。通院困難な透析患者さんの入院治療にも対応するなど、地域における透析医療の拠点としての役割を担っていきたくと考えています。

### ■合併症の予防から治療までを総合的にサポート。

透析を受けている方は、一般の方に比べて心不全や脳血管疾患、感染症などの合併症を引き起こすリスクを数多くもっています。これらの合併症が起きないように、循環器科、泌尿器科、眼科、皮膚科、形成外科など、院内のさまざまな科の先生と協力しながら合併症の予防と早期発見に努め、早期治療につなげています。特に糖尿病の方はもともと免疫力が低下していることに加え、足の血液の循環も悪くなりますので、糖尿病認定看護師によるフットケア、管理栄養士による食事指導にも力を入れています。

### ■シャントトラブルにも迅速に対応。

シャントとは、血液透析を行う際、静脈にたくさんの血液が流れるように、手術で動脈と静脈をつなぎ合わせた血管のことで、透析患者さんにとっては命綱となるものです。当センターでは患者さんの状態・状況に最も適したシャント作成を行っているほか、そのシャントが狭窄や閉塞、感染しないように管理を徹底し、トラブルが生じた際も迅速に対応しています。



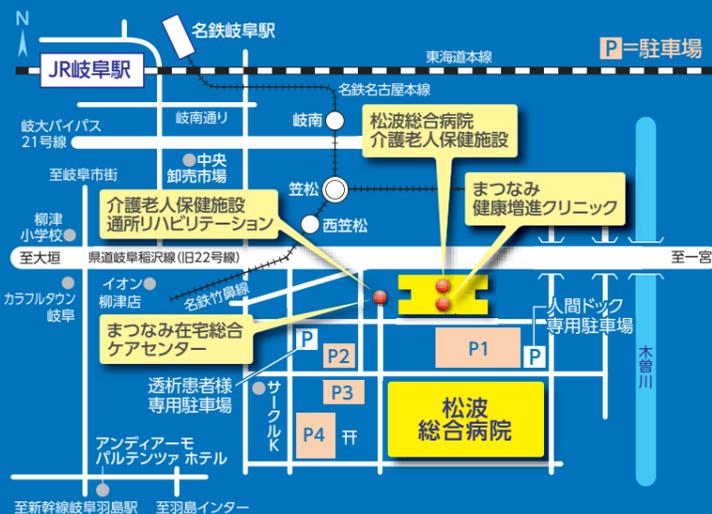
### 長谷川先生からのメッセージ

「透析療法が必要です」といわれたら、誰もが不安になるのは当然です。しかし、適切な管理があれば健康な人と何ら変わりなく生活ができ、仕事をしたり、旅行や趣味などを楽しんでいらっしやる方も多くいらっしやいます。私自身の患者さんの中にも、透析を続けながら無事に女の子を妊娠・出産をされた方がいらっしやり、その子は今、高校生に成長しています。皆さんも、透析療法について心配なこと、疑問に思うことがあれば、いつでもご相談ください。

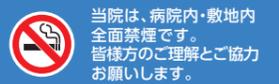


松波総合病院  
血液浄化センター 兼  
人工透析センターセンター長  
長谷川 義和

専門分野：生殖器腫瘍、尿路感染症・  
腎不全（透析療法）  
認定資格：日本泌尿器科学会：指導医・専門医



お気軽にお問い合わせください。  
☎ 058-388-0111  
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内  
全面禁煙です。  
皆様方のご理解とご協力  
をお願いします。

社会医療法人藤西厚生会  
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

## まつなみ訪問看護 ステーションの ご紹介

## 看護、リハビリ、介護を有機的につなげ、 ご自宅での療養生活を支援します。

まつなみ訪問看護ステーションでは、在宅療養をされている方やそのご家族が安心して快適な生活が送れるよう、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が定期的にご自宅を訪問し、看護やリハビリテーションを行っています。当ステーションの特長は、私が訪問介護ステーションの所長も兼務しており、同じフロア内でケアプランの立案から訪問看護・リハビリ・介護サービスの提供まで完結してできること。毎朝行っているミーティングでは、看護と介護の全スタッフが出席して情報交換を行い、たとえば退院直後は訪問看護を多くして密な看護を提供し、安定期に入ったら看護を減らし、介護福祉士の訪問を増やしてサービスを提供することで、ご家族の負担を減らすなど、利用者さんの状態や家庭環境にあわせて、いま一番必要なサービスを提供するようにしています。さらに緊急の場合は、地域の開業医の先生方と密に連絡調整を図りながら病状に応じた適切な医療の提供につなげています。



所長  
早藤 麻衣

### 訪問看護の魅力は、利用者さん一人ひとりと じっくり向き合った看護ができること。

訪問看護の場合は看護師ひとりで訪問するので、利用者さんの身体の状態をきちんと把握し、次に自分が訪問するまでの間の変化も予測したケアプランを組み立てていかねばなりません。利用者さんやご家族への心のケア、看護や介護に関する相談やアドバイスなど、次につながるようなサービスを提供していくことも求められます。私が1時間見たとして、あとの23時間を支えているのはご家族ですから。訪問を重ねるうちに利用者さんやご家族との信頼関係ができ、「待ったよ!」と笑顔で迎えていただくと、「この仕事を選んでよかった!」と心から思います。

### 病気と上手につき合いながら、その人らしい 生活ができるようサポートします。

利用者さんは、病気を治すために家にいるのではなく、たまたま病気をもっている人が家で生活している、ということなんです。だから、利用者さん個々の生活スタイルや希望は最大限叶えてあげたいと思っています。たとえば床ずれがあっても、「やりたいことや行きたいところがあれば、行ってください。そのあと、私が一生懸命(床ずれを)治しますから」って、利用者さんの背中を押します。幸い、うちのスタッフはみんな「この人のためにやりたい」という気持ちが強く、それが利用者さんの「生きる喜び」につながっています。週に2~3度の私たちの訪問を心待ちにしてくださる利用者さんのためにも、これからもみんなで力を合わせ、より良い療養生活をサポートしていきたいと思っています。

この日はかかりつけ医の訪問診療に同行し、利用者さんの治療にあたりました。

### 訪問看護師の1日をご紹介します

8:30 ▶ 出勤

朝礼・業務ミーティング



8:45 ▶ 午前の訪問へ

午前中に3~4名の利用者さん宅を訪問

【サービスの流れ】  
・バイタルチェック  
・利用者さんの状況に応じて必要なケア  
・記録

12:00  
13:00 ▶ お昼休憩

13:00 ▶ 訪問先へ出発

3~4名の利用者さん宅を訪問

【主なケア内容】  
・健康管理  
・日常生活のお世話  
・床ずれの予防/手当  
・リハビリテーション  
・医療器具の管理  
・介護者(ご家族)へのアドバイス

17:00 ▶ ステーションに戻り  
記録の作成、報告

17:30 ▶ 退社

料金、営業時間、申込方法など詳しいことは  
まつなみ訪問看護ステーションへ  
TEL 058-387-6950

## 言語聴覚士の リハビリ **まめ** 知識

### 胃瘻があると口から 食べられないのですか?

嚥下(飲み込み)の訓練を行っている時、「胃瘻があると口から食べられないのですか?」と質問をされる方が多くいらっしゃいます。そこで、今回は胃瘻と口から食べることについてお話します。

#### 【嚥下障害の病状】

飲み込みの機能低下 ▶ 経口摂取量の不足 ▶ 低栄養・脱水

#### 【栄養や水分の補給手段】

・胃瘻(おなかに小さな穴を開け、そこから管を通して、胃に直接栄養を入れる方法)

・経鼻胃経管栄養(鼻から胃に管を通して栄養を入れる方法)  
・点滴 など

胃瘻とともによく用いられている、経鼻胃経管栄養と合わせて、その特徴をご紹介します。

	胃瘻	経鼻胃経管栄養
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のどなどに管がないため、苦痛が少ない</li> <li>・誤嚥性肺炎のリスクが減少するといわれている</li> <li>・上気道の分泌物が増加しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口から食べられないほとんどの人に可能</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造設術(手術)が必要</li> <li>・瘻孔部(おなかに開けた穴)の皮膚管理が必要</li> <li>・注入時に脱衣が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に管の違和感がある</li> <li>・鼻やのどの清潔が保ちにくい</li> <li>・上気道の分泌物が増加する</li> <li>・嚥下運動の妨げになる</li> </ul>

※胃瘻造設については、主治医とよくご相談ください。

胃瘻のある方でも、嚥下機能に合わせた食事形態を選択すれば、もちろん、口から食べることは可能です。適正な形態で必要栄養量が満たされていれば、全身状態の改善はもとより、嚥下機能訓練の向上にもつながります。口から食べることで必要な栄養量を確保できるようになれば、胃瘻を外すこともあります。

## 吉村薬剤師の 知ってトクする くすりのお話し

### 人類最古の薬 モルヒネ

モルヒネは紀元前から用いられている人類最古の薬と言われています。現代の医療においても、がんの痛みの緩和に欠かせない薬はモルヒネをはじめとする医療用麻薬です。しかし同時に、長い歴史の中での誤った使い方により、中毒者や依存者を生み出してきた薬でもあります。日本においては、中毒になってしまう、廃人になってしまう、死期を早めてしまう、というモルヒネの負のイメージが特に強く植え付けられてきました。

そのため、モルヒネの使用量は他国と比べて非常に少なく、イギリスの5分の1、アメリカの19分の1程度と言われています。また、日本人は我慢強い方が多く、がんの痛みも我慢するのが当然、と思われる方も多いようです。しかし、痛みを我慢しては普段通りの生活を送ることはできません。現在では、がんの治療はがんそのものの治療と併行して痛みの治療も行うことが一般的となっています。決して痛みの治療は最期に行うものではないのです。モルヒネは痛みのある方に対して適切に使用すれば、中毒になったり頭がおかしくなったりすることはないと科学的に証明されています。また、モルヒネを使用しながら普段通りの生活を何年も送られている方は大勢いらっしゃいます。この歴史ある重要な薬を効果的に使用できるように、正しい知識を身に付けていただけたらと思います。

### 新しく当院に赴任した医師を ご紹介します。



人間ドック健診センター センター長  
小窪 和博

当院の人間ドックは最新鋭の医療機器と専門職の医療技術により、疾病の早期発見に全力を尽くしています。私は受診者の皆さんの生活習慣病予防・健康管理のホームドクターを目指します。

### まつなみ information

#### サロンコンサートを行いました。

平成25年9月4日当院のロビーにて、オーボエの世界的奏者ボストン交響楽団の若尾圭介さん、ピアニスト広瀬悦子さんを招いたコンサートを開き、患者さんや多くの方に楽しんでいただきました。

